

仙台稲作情報 2025 (第7号)

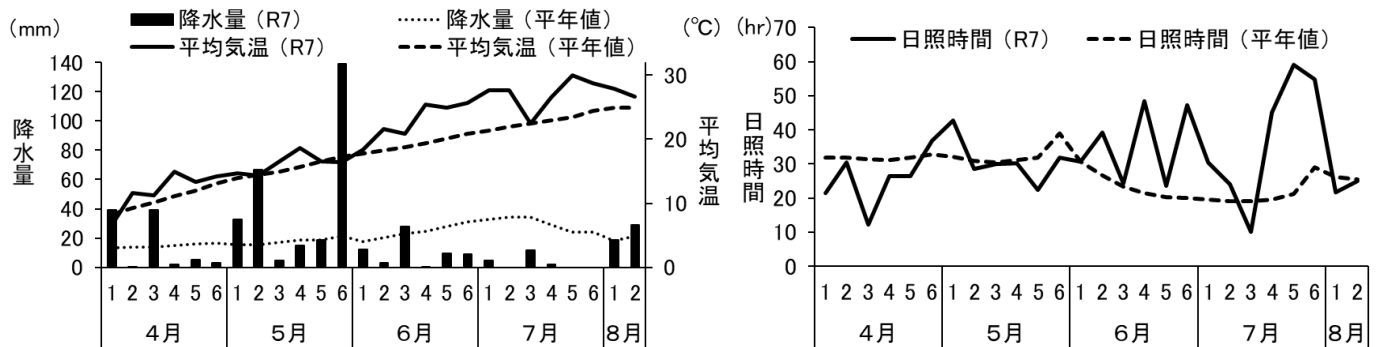
宮城県仙台農業改良普及センター TEL : 022-275-8410 FAX : 022-275-0296

http://www.pref.miyagi.jp/sd-nokai E-mail : sdnokai@pref.miyagi.lg.jp

栽培管理のポイント

▷高温の影響で米の登熟は、平年と比較して早くなると見込まれます。刈遅れによる品質低下を防ぐため、籾の熟色をよく観察して、適期刈取りに努めましょう！

1 気象経過



- ・7月は、高気圧に覆われて晴れる日が多くなり、月平均気温は平年よりかなり高く、月降水量はかなり少なく、月間日照時間はかなり多く推移しました。
- ・東北南部は、平年より6日早い7月18日ごろに梅雨明けしたとみられます。
- ・8月上旬は、前線などの影響により曇りや雨の日が多くなり、旬平均気温は平年より高く、旬降水量は平年より多いから平年並、旬間日照時間は平年並から少なく推移しました。

2 出穂状況

管内全体の出穂期は7月28日、穂揃期は8月3日となり、それぞれ平年より3日早いです。

表1 管内の出穂状況（地帯区分別）

地帯区分	出穂始期	出穂期	穂揃期
山間高冷	7/26	8/1	8/7
西部丘陵	7/23	7/27	8/3
北部平坦	7/23	7/28	8/5
南部平坦	7/25	7/28	8/5
仙台湾沿岸	7/25	7/28	8/5
仙台普及センター管内平均 (平年差)	7/24 (2日早い)	7/28 (3日早い)	8/3 (3日早い)
県全体 (平年差)	7/25 (3日早い)	7/30 (2日早い)	— (—)

※50%以上出穂したほ場を「出穂期に達した」とし、地帯区分別の出穂始期、出穂期、穂揃期は、「出穂期に達した」面積が、当該区域の水稻作付面積の5%、50%、95%以上となった日とする。

※普及センター管内全体の「平年差」は、令和2年から令和6年までの5年平均との差。

※県全体の「平年差」は、過去10年（平成27年～令和6年）のうち、最も早い年と遅い年を除いた8年平均との差。

※県全体の穂揃期は現在集計中。

3 管内の生育状況

(1) 移植栽培（ひとめぼれ）

各生育調査ほの出穂期は、前年より 3 日程度遅く、平年より 2 日程度遅い状況でした。また、穂揃期の葉色は、31.7 で平年よりやや低い値でした。

表 2 生育調査ほにおける出穂期及び穂揃期の葉色

品種	地帯	場所	田植日	出穂日			葉色値 (GM値)		
				本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
ひとめぼれ	仙台湾沿岸	仙台市宮城野区蒲生	5/22	7月31日	-2	-3	30.1	-1.5	-4.9
	北部平坦	大郷町鶉崎	5/18	8月4日	+4	+2	32.1	+0.7	+1.2
	西部丘陵	仙台市泉区福岡	5/11	8月1日	-	-	32.8	-	-
	管内平均			8月1日	+3	+2	31.7	+0.2	-1.3
ササニシキ	仙台湾沿岸	仙台市若林区荒井	5/13	7月25日	-4	-5	32.6	-2.1	-1.5
にじのきらめき	北部平坦	大郷町土橋	5/22	8月12日	-	-	-	-	-

※平年差の計算は、直近 5 か年の平均値を使用。仙台市泉区ひとめぼれ、大郷町土橋ににじのきらめきは、今年から調査しているため平年値なし。

※出穂日：当該ほ場の稲の出穂が 50%に達した日。

(2) 乾田直播栽培

乾田直播栽培の普及展示ほ（品種：ササニシキ）の出穂日は 8 月 2 日頃とみられ、3 か年平均並の状況でした。

表 3 乾田直播ほ場における出穂期

品種	地帯	場所	播種日	出穂日		
				本年	前年差	平年差
ササニシキ (慣行)	仙台湾沿岸	仙台市若林区	4/18	8月2日	+2	±0
ササニシキ (県認証基準)	仙台湾沿岸	仙台市若林区	4/21	8月2日	-	-

※平年差の計算は、直近 3 か年の平均値を使用。

※出穂日：当該ほ場の稲の出穂が 50%に達した日。

4 今後の管理

(1) 高温の影響と対策

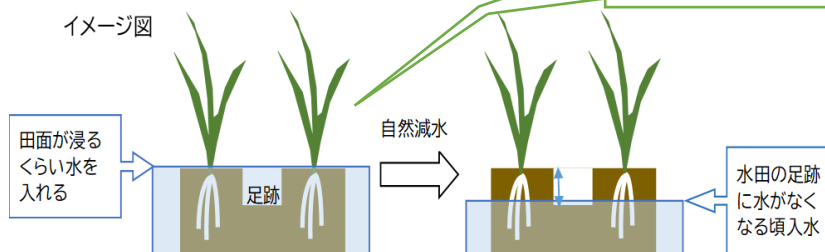
- ・ **出穂期以降 20 日の間に、平均気温 27℃以上の高温が連続する場合、白未熟粒が多発し品質が著しく低下する危険性があります。** 降水量が少なく用水量が不足している地域では、水温や地温の上昇を抑制する方法として、**「飽水管理」が有効です**【下記(2)水管理を参照】。
- ・ **早期落水により登熟不良や品質低下の影響が出やすくなります。** 落水時期は、出穂後 30 日以降を目安として実施してください。
- ・ 刈取適期が早くなる可能性が高いです。刈取りに向けた収穫機械や乾燥調製施設等の清掃、点検を早めに行い、刈遅れがないようにしましょう。

(2) 水管理

- ・ 高温時に湛水状態を続けると、夜間の水温が高くなり稲体を消耗させます。**用水量が限られる場合は、稲体の夜温を下げやすく、根の活力を維持できる「飽水管理」が有効です。**
- ・ 登熟良化のためには、出穂期以降 30 日程度飽水管理を継続しましょう。
- ・ 田面に亀裂が入るなど乾いた状態から急激に湛水状態にすると根を傷めるため、最初は走り水とし、その後飽水管理に移行しましょう。

飽水管理の方法

- 1 水尻を閉め、畦畔から漏水がないか確認する
- 2 田面が浸るくらい（ひたひた）に水を入れる
- 3 水を止めた後水尻を閉めたまま自然落水する
- 4 水田の足跡に水がなくなる頃、または、番水時に次の水を入れる。（目安は3～5日おき）



- ・落水時期の適期は**出穂後 30 日**からとなりますが、ほ場条件、天候、登熟条件などを考慮して落水時期を決定しましょう。
- ・落水後も好天が続き、田面が過乾燥になるときは、走り水程度のかん水をしましょう。

(3) 刈取適期

- ・刈取適期の目安は、**出穂期後の平均気温を積算した数値が概ね 1,000℃に達した頃**です。積算気温は品種で異なるため、表 4 及び表 5 を参考にして、適期の刈取りに努めましょう。
- ・一般的には、籾の 80～90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から 3 分の 1 程度黄変したときが成熟期です。出穂期や籾数の違いで登熟の進展に差が生じるため、ほ場ごとに籾の熟色等をよく観察しましょう。
- ・籾水分による刈取適期の判断は、25%（刈取早限）～21%（刈取晩限）が目安です。
- ・「だて正夢」は、刈取りが早過ぎた時や遅すぎた時に玄米タンパク質含有率が高くなる傾向があります。**適期が 2 日程度**しかないので、天気を確認しながら計画的に作業をしましょう。
- ・「金のいぶき」は、成熟期が「ひとめぼれ」より遅い品種です。また「ひとめぼれ」より穂発芽しやすく、品質が低下しやすい品種です。**積算気温を目安に穂の熟色を確認して早めに刈取りましょう。**

表 4 刈取適期の目安

【仙台】	出穂期			
	7月25日	7月28日	8月5日	8月10日
ひとめぼれ	8/30～9/4	9/2～9/8	9/11～9/16	9/16～9/22
ササニシキ	8/28～9/7	9/2～9/10	9/8～9/19	9/13～9/25
だて正夢	9/2～9/3	9/5～9/6	9/14～9/15	9/19～9/20
金のいぶき	9/3～9/6	9/7～9/10	9/15～9/18	9/20～9/25
まなむすめ	8/31～9/2	9/3～9/6	9/11～9/14	9/17～9/19

【大衡】	出穂期			
	7月25日	7月28日	8月5日	8月10日
ひとめぼれ	8/30～9/5	9/2～9/8	9/11～9/17	9/17～9/24
ササニシキ	8/30～9/8	9/2～9/11	9/11～9/20	9/16～9/27
だて正夢	9/2～9/3	9/6～9/7	9/15～9/16	9/20～9/21
まなむすめ	8/31～9/3	9/3～9/6	9/12～9/15	9/17～9/21
萌えみのり	8/30～9/5	9/2～9/8	9/11～9/17	9/17～9/23

【鹿島台】	出穂期			
	7月25日	7月28日	8月5日	8月10日
ひとめぼれ	8/30～9/4	9/2～9/8	9/11～9/17	9/16～9/23
ササニシキ	8/29～9/7	9/2～9/11	9/11～9/19	9/16～9/26
だて正夢	9/2～9/3	9/6～9/7	9/14～9/15	9/19～9/21
まなむすめ	8/31～9/2	9/3～9/6	9/12～9/14	9/17～9/20
萌えみのり	8/30～9/4	9/2～9/8	9/11～9/17	9/16～9/23

表 5 出穂後の積算気温による
刈取時期の目安

品種	出穂後の積算気温
ひとめぼれ	940～1,100℃
ササニシキ	930～1,170℃
だて正夢	1,020℃～1,060℃
金のいぶき	1,050～1,150℃
まなむすめ	960～1,050℃
みやこがねもち	1,000℃前後

※出穂期が 7/25、7/28（管内出穂盛期）、8/5、8/10 であった場合の品種毎の刈取適期の目安。

※気象データは各地点のアメダステータを使用。仙台は、名取のデータを使用。

8 月 14 日までは実測値、それ以降は前年値を使用。（前年同様に高温で経過する見込みであるため。）

※各出穂日に対する刈取適期の算出は、表 5 に基づいて計算した。

◎ 籾熟色によるコンバイン収穫期の予測・判定

「ひとめぼれ」では、穂数および稈の長さが平均的な株（枝梗数8本）の中位二次枝梗籾（図1）の籾色を観察することで、成熟段階の判定が可能であり、刈取適期を予測することができます（表6）。

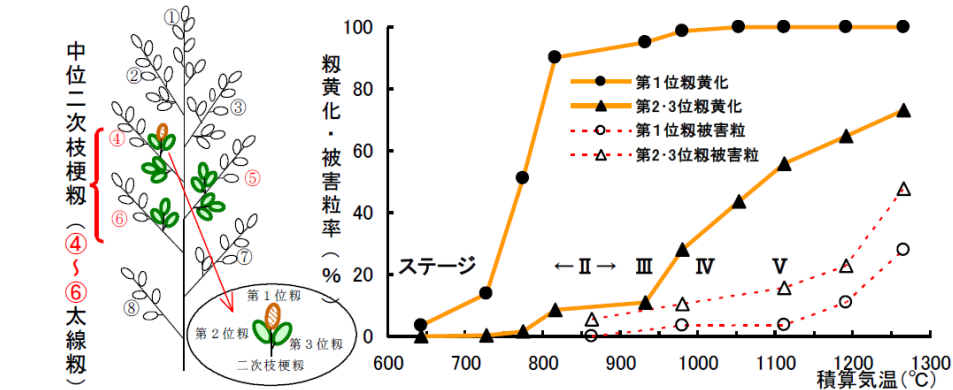


図1 積算温度と穂の中位二次枝梗籾黄化率の推移

表6 「ひとめぼれ」の籾色による成熟段階

成熟段階	籾熟色	備考
I	第1位籾が急速に黄化開始。	
II	第1位籾がほぼ黄化(90%)。	7日以内に刈取り早限
III	第1位籾がほとんど黄化し(95%)、第2・3位籾が黄化開始。	刈取早限(刈取適期ここから)
IV	第1位籾の黄化100%、第2・3位籾が30%黄化。	積算気温1,000℃程度
V	第2・3位籾が50%以上黄化。	刈取晩限(刈取適期ここまで)

5 収穫作業

- ・コンバイン収穫は籾水分が高いと損傷が多くなるため、**籾水分 25%以下を目標に刈取**しましょう。
- ・今年度作付けしている品種が前年と異なるほ場では、漏生籾（こぼれ籾から発芽した稲）の発生に注意し、草姿や成熟が明らかに異なる株は可能な限り抜き取りましょう。
- ・複数品種の刈取りは、**品種が替わる際に十分な清掃**を行い、異品種の混入防止に努めましょう。
- ・倒伏している場合は**刈分けを実施**し、収穫物に石など異物が混入しないよう注意しましょう。

6 乾燥調製

- ・収穫後の生籾を放置すると発熱で変質米となるため、**刈取り後速やかに乾燥機で送風**しましょう。
- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲など**高水分の籾を機械乾燥する場合は、二段乾燥**(籾水分が 18%程度になったら火力乾燥を一時中断し、一定時間通風循環後仕上げ乾燥を行う)を行い、水分ムラや胴割米の発生を抑えましょう。
- ・正確な水分測定のためには、玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて測定しましょう。また、こまめに水分測定して過乾燥を防止しましょう。**仕上がり玄米水分は 14.5%～15.0%が目標**です。
- ・籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底しましょう。
- ・「だて正夢」では、**充実した玄米を確保するためふるい目は 1.9 mmとします**。

7 東北地方の向こう 1 か月の天候の見通し（8/14 仙台管区气象台発表）

- 向こう 1 か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため高いでしょう。特に期間の前半は気温がかなり高くなる可能性があります。
- 高温に関する早期天候情報が発表されており、20 日頃から気温がかなり高くなる見込みです。
- 高気圧に覆われやすいため、向こう 1 か月の日照時間は多く、降水量は少ないでしょう。